

シャインマスカット短梢栽培における副梢管理の省力化

要約

副梢管理は、「全切除」管理が「部分切除」管理より作業回数が2回少なく、作業回数が短縮できた。また、「全切除」管理は「部分切除」管理に比べ管理方法が簡便なため、ぶどうの栽培経験がなくても実施できると考えられ、雇用の活用も期待できる。

○ 展示のねらい

下都賀管内ではシャインマスカットにおける短梢栽培の導入が進んでいる。短梢栽培は、従来の長梢栽培に比べ副梢管理に要する労力が多く生産者の負担になっている。また、副梢管理をやりきれない生産者もあり果実品質低下の原因にもなっている。そこで、副梢管理の省力化方法を検討し生産者の負担軽減、高品質安定生産に資する。

○ 主な成果

表1 新梢・副梢管理の作業時間、回数

処理区	時間 (h/10a)	回数
全切除区	50.5	5
部分切除区(慣行)	49.8	7

新梢、副梢管理の作業時間は全切除区と部分切除区で差がなかったが、作業回数は全切除区が5回と部分切除区の7回に比べ2回少なかった(表1)。収穫時果実品質は、房重、1粒重、糖度、収量ともに差がなかった(表2)。

表2 収穫時果実品質²

処理区	房重	1粒重	粒数	糖度	収量
	g	g	粒	%Brix	t/10a
全切除区	724	13.5	54	15.3	2.4
部分切除区(慣行)	713	13.1	55	15.5	2.4

慣行の部分切除区は副梢を3~5枚残して摘心するという複雑な管理であるのに対し、全切除区は副梢を元から切除するという簡便な管理であることから、ぶどうの栽培

²満開95日後に調査

管理の経験がない初心者でも作業が可能であると考えられ、雇用の活用が期待できる。

○ 今後の方向性

副梢管理方法については、労働力、目標とする房重・収量に合わせて選択するよう指導する必要がある。また、プラスチック液剤のような新梢、副梢の伸長抑制効果が期待できる資材を効果的に組み合わせる等して、さらなる作業の省力化を検討していく必要がある。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：栃木市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315